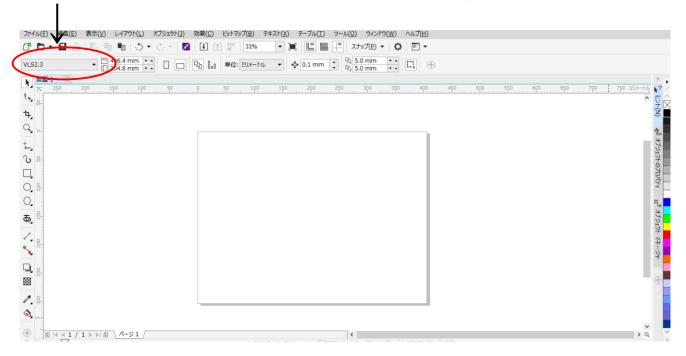


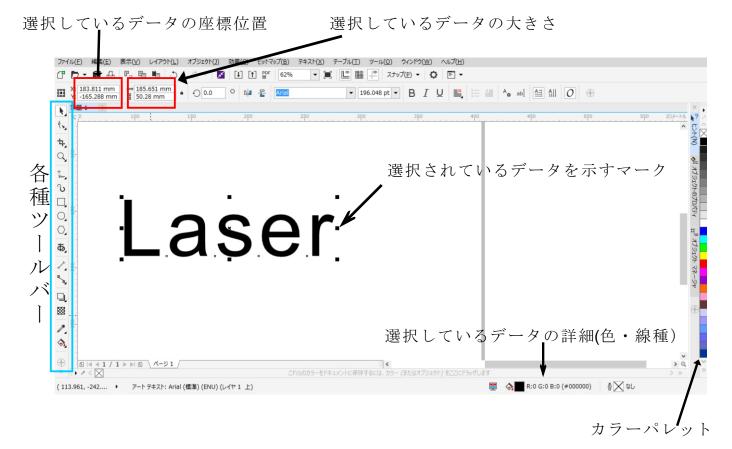
Corel DRAW での作図について

Rev-2

Corel DRAWを起動させ「ファイル」から「新規作成」を選択します。 ※必ず表示されている用紙内にデータを作図・配置して下さい。 用紙外にデータがあると加工時にエラーが発生します。

用紙設定がレーザー機の名前になっているか確認します。

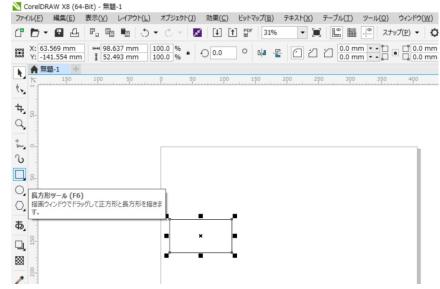




長方形ツールとテキストツールを用いて下記のデザインを作成してみます。

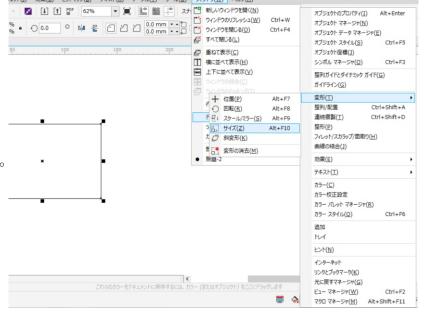
Laser

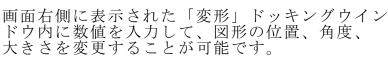
左側ツールバーから長方形 ツールを選択して用紙エリ ア内で図形を作成します。



 $rac{1}{2}$ 効果(C) ビットマップ(B) テキスト(X) テーブル(I) ツール(Q) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

上部メニュー内の 「ウインドウ」から 「ドッキングウインドウ」→ 「変形」→サイズを選択します。





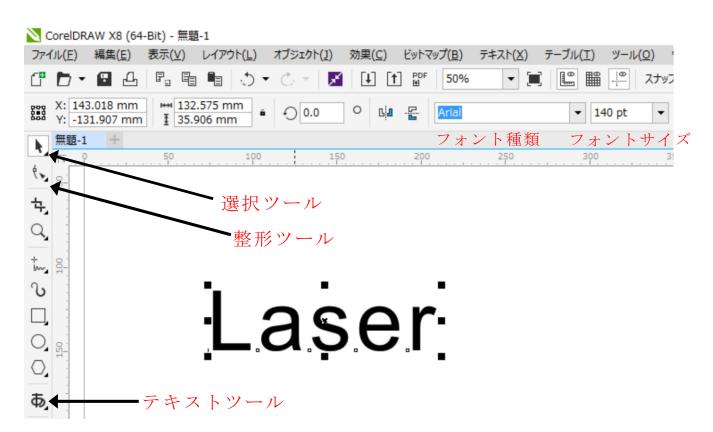
「サイズ」を選択し図形の大きさを指定します。 Xが横方向、Yが縦方向の大きさになります。 数値を入力し「適用」ボタンを押すと入力した 数値の大きさに変化します。

数値の大きさに変化します。 「比例」のチェックを外すと縦と横どちらかの 大きさだけを変えることができます。 その下のチェックマークは図形変形時の基準位置 です。



テキストを入力する場合は「テキストツール」を選択して、任意の場所で左クリックを押します。カーソルが点滅したらフォントの書体と大きさを選び、テキストを入力します。書体と大きさはテキストを入力した後に、「選択ツール」に戻してから行っても可能です。

- ※フォントはWindowsにインストールされている種類を使用できます。
- ※「整形ツール」を使用すると文字の大きさを変更せずに文字の間隔を変更できます。 「整形ツール」選択後文字の下に出てくる矢印をドラッグ&ドロップすると調整で きます





図形やフォントの枠線を変更する場合は「選択ツール」で図形を 選び、画面左側のツールバーにある「輪郭ツール」→「輪郭ペン」 と選択し「カラー」で色を、「幅」で輪郭の太さを変更できます。

※輪郭線が極細線の場合、レーザー機は切断動作を行います。 彫刻動作にしたい場合は輪郭線を無しにするか、極細線以外の 輪郭幅に設定して下さい。 また、黒色以外のカラーを用いる場合はレーザー機ドライバー 内のカラーマッピング機能を利用します。

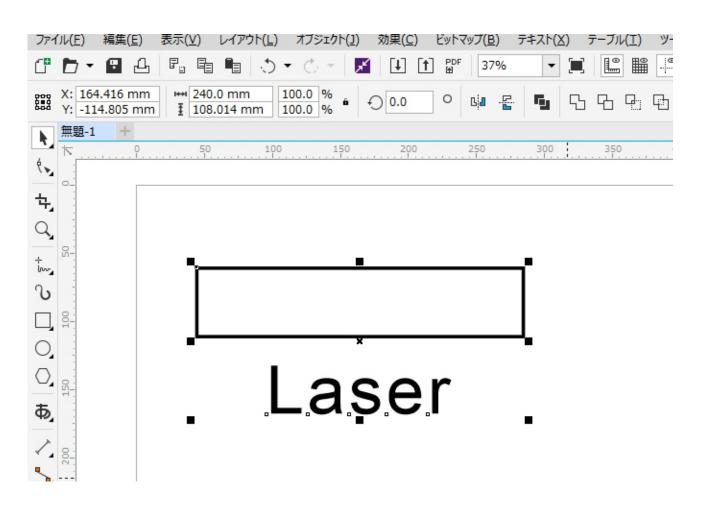


図形やフォントの塗りつぶし状態を変更する場合は「選択ツール」で図形を選び、カラーパラットの色にアイコンを合わせて、左クリックで塗りつぶし、右クリックで輪郭線色を変更できます。

※Corel DRAWの画面右下の表示で現在の状態が確認できます。

塗りつぶし	輪郭線色			
☆ XaU taU	↑ R:0 G:0 B:0 (#000000)			

長方形の大きさを変更し、テキストツールで文字を作成できましたので、この2つを整列させます。 2つの図形等を中央に重ねて配置する場合は、まず「選択ツール」で左クリックを押しながら整列させたい図形等を囲みます。



「ドッキングウインドウ」から「整列・配置」を 選択します。

14

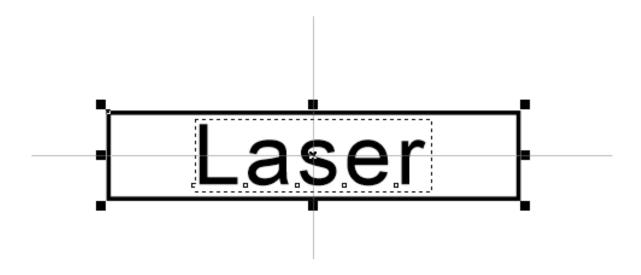


配置 整列 딞 ПП À + Аа ВЬ テキスト オブジェクトの整列基点: **,**, X: 203.2 mm Y: 152.4 mm オブジェクトの配置基点:

整列/配置

「左右中央揃え」「上下中央揃え」ボタンを押して選択した複数の図形を整列させることが可能です。

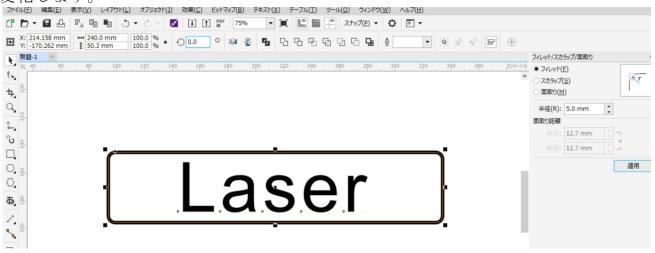
(整列配置後の図)



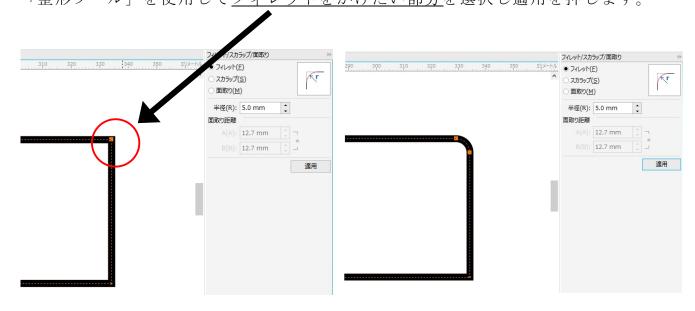
次に長方形の角の面取りを行います。

「選択ツール」で図形を選択します。 「ウインドウ」→「ドッキングウインドウ」→「フィレット/スカラップ/面取り」を 選択してドッキングウインドウに表示させます。

「フィレット」にチェックを入れ「半径(R)」に5mmと入力して適応を押すと角が丸く 変化します。



任意の選択箇所のみフィレットをかける場合は「選択ツール」で図形を選択して おき、上部メニューバーの「オブジェクト」→「曲線に変換」を選択。 「整形ツール」を使用してフィレットをかけたい部分を選択し適用を押します。



完成図

aser

データ作成~送信までのフロー

CorelDrawでデータを作成

CorelDrawメニューバー内の「ファイル」→「印刷」を選択

印刷設定内の「環境設定」でパワー・スピード等の数値を変更

印刷スタイルの項目を確認

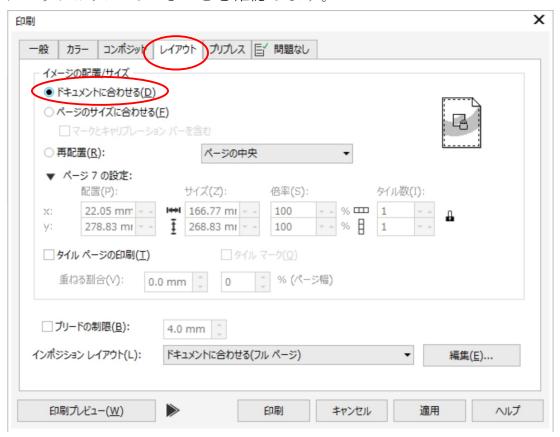
※初回のみ印刷スタイルの設定・保存をする必要があります



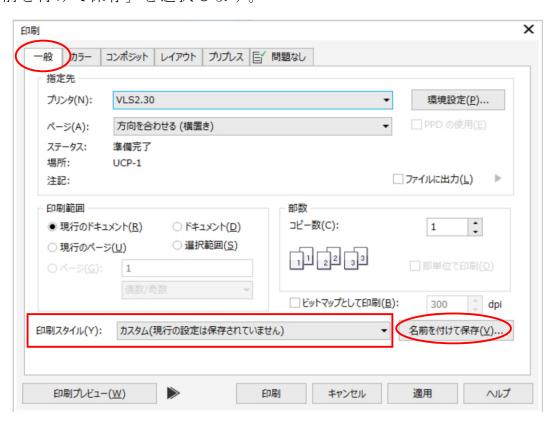
印刷設定内の「適用」→「印刷」ボタンを押すとレーザー機にデータが送信されます

初めに作成したデータをレーザー機に送信する準備を行います。

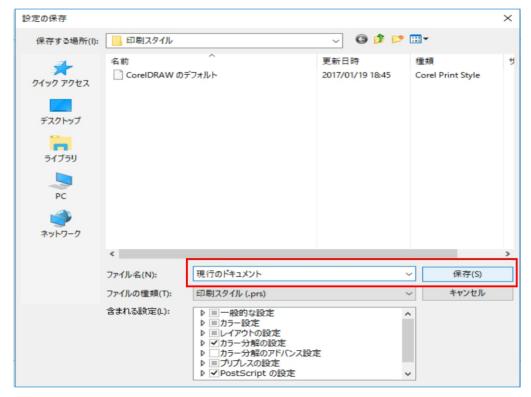
CorelDraw画面左上メニューバーの「ファイル」→「印刷」を選択します。 印刷設定内の上部タブ「レイアウト」を選択し「ドキュメントに合わせる」 にチェックが入っていることを確認します。



レイアウトタブの内容を保存する為「一般」タブに戻り「印刷スタイル」横の「名前を付けて保存」を選択します。



任意のファイル名を入力して保存ボタンを押します。 下記画面では「現行のドキュメント」と入力してます。





Universal Engraving Systems

印刷スタイル項目が保存したファイル名になっているいることを確認し 「適用」→「印刷」ボタンを押すとレーザー機にデータが送信されます。

指定先一									
プリンタ(N): VLS2.30 ▼						環境設定(<u>P</u>)			
ページ(A)	: 方	方向を合わせる (横置き) ▼					□ PPD の使用(E)		
ステータス		備完了							
場所:	UC	P-1					7- /u -u+/)	
注記:							ファイルに出力(<u>L</u>)	
印刷範囲					部数				
● 現行のドキュメント(R)○ ドキュメント(D)□ピー数(C):					1 🗘				
○ 現行の)ページ(<u>U</u>)		○選択	範囲(<u>S</u>)					
	(<u>G</u>):	1			1 2 2	33	一部単位で印		
				~		_			
					□ ビットマップ	プとして印刷(<u>B</u>):	300	[‡] dpi	
刷スタイル	(Y): I	行のドキ	ユメント			-	名前を付けて保	存(<u>∨</u>)	

※印刷範囲項目を「選択範囲」にしてデータ送信する場合(特定のオブジェクトだけを選択する時)は改めて「選択範囲」にチェックを入れて印刷スタイルの保存を行う必要があります。

